

第23回 日本免疫毒性学会学術年会

市民公開講座

テーマ 工業用ナノ材料の有害性評価手法の
開発と労働衛生管理

場所 北九州国際会議場 2階 国際会議室
北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

日時 2016年9月5日(月) 13:00~16:50

入場無料 定員 **220名**

I. 有害性評価手法の開発

(経済産業省ナノ安全プロジェクト研究成果報告)

- ① プロジェクトの概要と講演会の趣旨
国立研究開発法人産業技術総合研究所 蒲生 昌志
- ② ナノ材料のリスク評価の国際動向
国立医薬品食品衛生研究所 小林 憲弘
- ③ 吸入暴露試験と気管内投与試験の比較
産業医科大学 和泉 弘人
- ④ 気管内投与試験の標準的手法
日本バイオアッセイ研究センター 加納 浩和
- ⑤ 同等性の判断基準
一般財団法人化学物質評価研究機構 大崎 浩
- ⑥ ナノ材料の体内動態評価
国立研究開発法人産業技術総合研究所 藤原 直秀



北九州市環境マスコットキャラクター
ていたん&ブラックていたん
©ていたん&ブラックていたん、北九州市

II. 労働衛生管理

- ⑦ ナノ材料を含めた化学物質のリスクアセスメントと労働衛生管理
産業医科大学 森本 泰夫

主催 日本免疫毒性学会

共催 北九州市、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会

<お問い合わせ>
第23回日本免疫毒性学会学術年会 事務局
807-8555 北九州市八幡西区医学生1-1 産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学内
ホームページ <http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/kbyotal/lecture2016/index.html>